

高齢者福祉タクシーチケットの見直しを！

町 長

財源確保が重要なため、慎重に検討します。



福祉タクシーチケット枚数の増加と対象年齢の引き下げを！

問 現状の福祉タクシー助成について「枚数が少ない」「申請に手間がかかる」などを耳にし、近隣の自治体と比べても、改善が必要ではないかと考えます。

利用向上のための一層の周知、1度に複数枚のチケットを使用できるのか、また、バスチケット導入の可能性について伺います。

答 配布枚数に関しては財源確保が重要で、慎重に検討してまいりたい。申請は、福祉課、各総合支所・出張所窓口のほか、郵送や代理の方でも可能です。

利用周知は、今後一層努めてまいりたい。

現状の助成券は基本料金の助成のため複数枚利用は困難です。

バスチケットに関しては、地域公共交通計画を実行する中で、財源の確保と進め方の検討が必要です。

地家室園地と沖家室キャンプ場の運営は？

町 長

職員や地域協議会を軸に考えます。



新しい施設は、周防大島の今後の訪問客の動きを変えるような力が期待できます。地域との連携を密にして運用を行っていただきたい。

問 今年度開設する地家室園地と沖家室キャンプ場の連携と、地域住民や各種団体・事業者と協力した運用のための協議会などの態勢について伺います。

答 2名の地域おこし協力隊と2名の会計年度任用職員で管理し、担当課職員が調整を行います。

白木半島コミュニティ協議会との連携を軸に、協議や運営を行います。



オープンが待たれる沖家室シーサイドキャンプ場

地域公共交通計画の今後のスケジュールは？

町 長

進捗に応じて、周知を図ってまいりたい。



全戸配布される資料を分かりやすく、回数を多く示していただきたい。

問 令和5年3月に地域公共交通計画が策定されました。計画では令和5年度から5年かけて、見直し、検討、導入、実施がなされるスケジュールになっていますが、町民の中には、今年度中に全て実施されると思っている方もいます。

今後のスケジュールを分かりやすく示す必要があると考えますが、見解を伺います。

答 年3回程度開催予定の地域公共交通活性化協議会の資料を、その都度ホームページに掲載し、大きな変更点や成果があれば、全戸配布や町広報において周知を図ってまいりたい。

また、具体的な路線の見直しや運賃の改定等、本計画に掲げる事業の完成・完了の目途が立てば、住民説明会等も開催したい。